

団体受験（CBT受験）の窓口ご担当者の作業チェックリスト

【作業1】（CBTによる）薬学検定試験の団体受験希望者を募る。

※この際、試験日時や試験会場（テストセンター）を予め決める必要はありません。
（試験日時・試験会場は、受験希望者が各自、ご自身の都合の良い日時・場所を選んで決めます。下記【作業3】をご参照）



【作業2】ある程度、受験希望者が集まったら、薬学検定事務局に『受験願書』を送る。

※『受験願書』は、ホームページからダウンロード可能です。
ダウンロードできない場合は、メールでご連絡下さい。
メール：kentei@yakugaku.or.jp（薬学検定事務局）

願書を発送した後、薬学検定事務局から下記（1）と（2）の2点が送られてきます。
（1）受験希望者（人数分）の『受験チケット』（受験者が受験予約するためのID番号が記載されています）
（2）請求書（受験者が10名以上いらっしゃる場合、受験料10%割引となります）



【作業3】各受験希望者に『受験チケット（上記1）』を渡す。
これと同時に各受験希望者に対し、『試験日時・試験会場（テストセンター）』の受験予約を（できるだけ早く）行うよう指示する。

※この際、独自の「受験ルール」があれば、その旨、各受験希望者に伝えて下さい。
（受験ルール<例>：必ず〇月〇日までに受験を完了させておくこと。あるいは必ず平日に（または土曜日祝日に）受験予約をすること…など。なければ別に結構です。）

※『受験チケット』を受け取った各受験希望者は、記載されたID番号を使って、各自で『試験日時・試験会場』の受験予約を（できるだけ早く）行います。

◆「できるだけ早く」の理由：試験会場（テストセンター）は全国360会場から選べますが、各テストセンターには「定員」があり、また他の検定試験・資格試験の試験会場でもありますので、（希望する受験日の席を確実に確保するという意味で）少しでも早い方が良いと思います。



【作業4】各受験者から、受験予約した『試験日時・試験会場（テストセンター）』をヒアリングしておく。あるいは、受験が完了したら、その旨、必ず（窓口ご担当者に）連絡をするように伝える。



【作業5】（薬学検定事務局から送られてくる請求書に対応すべく）薬学検定事務局の口座に団体受験料を振り込む。概ね、請求書到着から1ヶ月以内にお振込をお願い致します。

<全ての受験者の受験が完了したら>



【作業6】薬学検定事務局から送られてくる『結果ご通知書』を各受験者に渡す。